

PMS6



PhotoMovie Studio

フォトムービー スタジオ 6 Wedding

標準価格 7,838円(税抜)

JAN-4562279363133

フォトムービー スタジオ 6 PRO

標準価格 5,857円(税抜)

JAN-4562279363126

フォトムービー スタジオ 6

標準価格 3,905円(税抜)

JAN-4562279363119

		PMS6	PMS6 Pro	PMS6 Wedding	
入力	[写真] からフォトムービー作成	●	●	●	写真追加数に制限無し*2
	[ビデオ] からフォトムービー作成	×	●	●	ビデオ取り込み数に制限無し*2
	オープニング & エンディング (エンドロール)	●	●	●	作品タイトル、各種クレジット、出演者等々を追加、エンドロールのみならず様々な表示効果を選択可能。
	テキストアニメーション	●	●	●	好きなタイミングで、好きな位置に好きなだけ文字を挿入。テキストアニメーション効果を追加可能。
	BGM追加/編集	●	●	●	楽曲の好きな部分のみを設定可能。曲追加数に制限無し。
演出・編集	スタイル	●	●	●	様々なスタイルを組み合わせて、思い通りのフォトムービーを演出。魅力的なスタイルを豊富に収録。
	ウェディング専用スタイル	×	×	●	ウェディング用スタイルを強化。追加収録。
	トランジション	×	●	●	ビデオ/写真素材の間を繋ぐ、
	モーション	×	●	●	写真の特定箇所へのズームインなどの演出
	エフェクト	●	●	●	作品演出を、更に華々しく飾ろう
	クリップアート	●	●	●	プリクラ感覚でアニメーションや吹き出しを追加。
	タイムライン編集	●	●	●	BGMや字幕のタイミング合わせに重宝
	フォトレッタチ	●	●	●	写真加工自由自在！拡大/向き変更/色調赤目補正等
	ビデオ編集	×	●	●	ビデオのクロップ・トリム・色調補正等
	DVD作成	●	●	●	市販DVDのような、メニュー付DVDが簡単に作成可能！
出力 ¹⁾	ビデオ出力	●	●	●	HD動画~iPod/スマホ等、用途に合わせて簡単に出力
	Web動画	●	●	●	ホームページ、Blog、YouTube、Twitterに公開

*1: 16:9, 4:3, その他再生環境に最適な品質で出力可能。 *2: PCのパフォーマンスに依存。

※ フォトムービー作成を中断する場合は、必ず、プロジェクトファイルのバックアップをおこなってください。作成中の作品の破損や消失を防ぎ、安全に作品作りをおこなうことができます。詳細はP2のプロジェクトファイルをバックアップするを参照ください。

www.pms6.com

CHAPTER 1▶▶ 制作モードは2種類

制作モード選択画面



フォトムービースタジオ6を起動すると、制作モード選択画面が表示されます。画面左側アイコンをクリックするとフォトムービーモードが開き、右側アイコンをクリックするとビデオ編集モードが開きます。開いた画面の最上部にはモード名が表示されます。

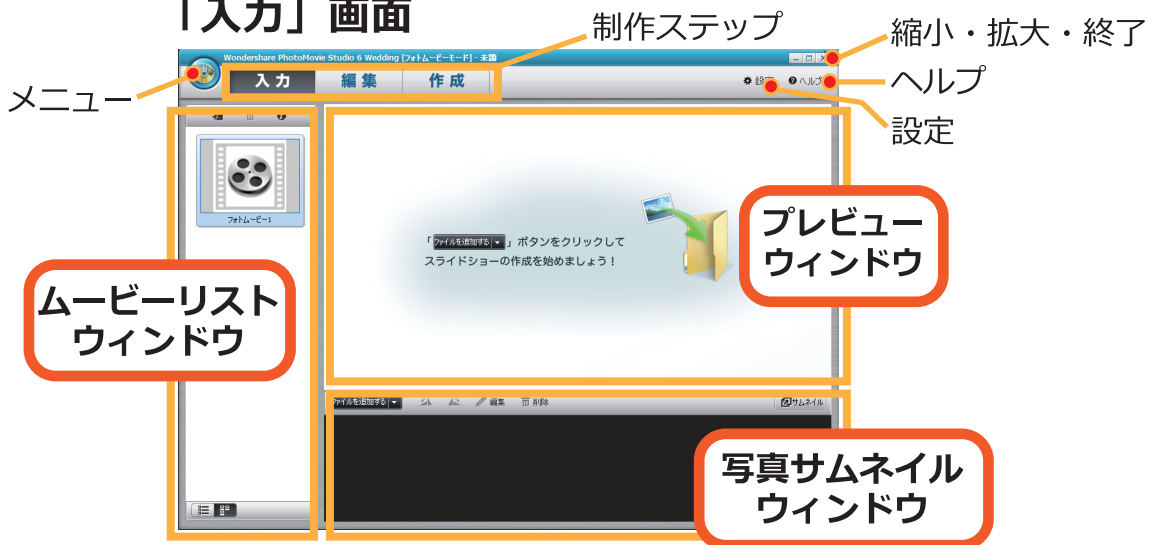
フォトムービースタジオ6プロ（以後 PMS6 プロ）及びフォトムービースタジオ6ウェディング（PMS6 ウェディング）にはフォトムービーモードとビデオ編集モードの2種の制作モードがあります。フォトムービースタジオ6（以後 PMS6）ではフォトムービーモードのみが使用できます。フォトムービーモードでは写真のみを入力可能で「スタイル」という演出効果が使用でき、ビデオ編集モードでは写真と動画を入力可能で「モーション」、「トランジション」という演出効果が使用できます。それ以外は、ほぼ違いはありません。

PMS6 プロ/ウェディングが2種類の制作モードに分かれている理由は、フォトムービーモードの「スタイル」が写真をイキイキと連続的に動かすことに特化しているため、ビデオの取込に対応していないからです。一方で、ビデオ編集モードはフォトムービーモードで作成したムービーをカット編集したり、ビデオをミックスしてムービーを発展させることができる所謂ビデオ編集ソフトとして活用でき、「モーション」、「トランジション」といった「スタイル」とは違う趣の演出効果が使用できます。しかしながら、今説明した部分以外の使用方法や編集方法は、ほぼ同じです。

本書はフォトムービーモードを主に解説しています。ビデオ編集モード特有の部分については別途、ウェブサイト pms6.com で解説しています。早速フォトムービーモードを開いて見ましょう。

CHAPTER 2▶▶ 入力

「入力」画面



フォトムービーモードを開くと「入力」画面が開きます。ムービーの制作の最初のステップです。

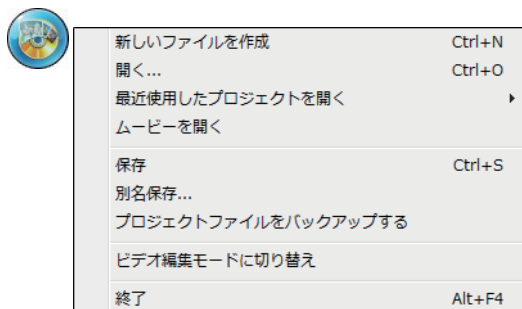
画面の上部にある「入力」ボタンは押されて選択されている状態になっています。

「ムービーリストウィンドウ」には空白のムービーが設置されます。この空白のムービーに写真等の画像ファイルをクリップとして追加し、「プレビューウィンドウ」で確認しながら「写真サムネイルウィンドウ」上でムービーの中で写真を表示したい順番に並べ替えを行ったり、クリップの補正を行います。また、画面上部からは「メニュー」や「設定」を開き、ムービーの保存や初期設定を行うことができます。

メニュー

画面左上の「メニュー」ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。

このメニューは PMS 6 のメインメニューとなります。



新しいファイルを作成：空白の新規「プロジェクト」を作成します。プロジェクトには複数のムービー保存することができ、それらをまとめて一枚の DVD にすることができます。

開く：プロジェクト (.dsb) をディレクトリーから選択して開きます。

最近使用したプロジェクトを開く：履歴からプロジェクトを選択して開きます。

ムービーを開く：各プロジェクトに格納された個別のムービーを、現在開いているプロジェクト上に追加して開きます。

保存：現在開いているプロジェクトをムービーごと保存します。

別名保存：現在開いているプロジェクトを別名前で、別のプロジェクトとして保存します。

プロジェクトファイルをバックアップする：作成中の作品を素材等のリソースファイルやメタ情報とまとめてプロジェクトファイルとして保存します。生成されたプロジェクトファイルはフォルダーに付随する必要ファイルとセットになって保存されますので、フォルダーごと、同バージョンの PMS がインストールされた他の PC にコピーすれば、その PC で継続して編集作業がおこなえます。

ビデオ編集モードに切り替え：現在開いているフォトムービーモードからビデオ編集モードに切り替えます。演出効果の「スタイル」の設定以外は全て引き継がれます。

設定・ヘルプ



画面右上の「ヘルプ」ボタンをクリックすると、インターネット回線を介してオンラインのヘルプドキュメントが閲覧できます。

「設定」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

ここでは「一般」と「ムービー」の 2 つの項目をタブで切り替えて設定します。

「一般」タブから設定

PC モニターと画像ファイルの縦横比が違うことが多くあり、その場合の表示方法を選択します。また、保存の初期設定を行います。

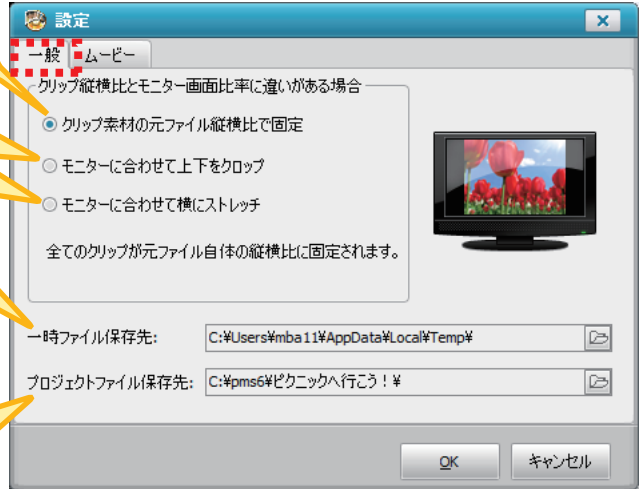
全てのクリップが元ファイルの縦横比に固定されます。

クリップの元ファイルに 16 : 9 以外のアスペクト比がある場合はクリップの上下がクロップされます。

クリップの元ファイルに 16 : 9 以外のアスペクト比がある場合は左右方向に引き伸ばされます。

制作時に使用するファイルの一時的な保存場所が必要です。右横のフォルダーの形をしたアイコンをクリックして保存先を指定して下さい。通常は初期設定のままを推奨しますが、もし高速な HDD に大容量の空きスペースがある場合はそちらを指定して下さい。

制作したプロジェクトファイル保存先の初期設定をします。右横のアイコンから保存先を指定して下さい。



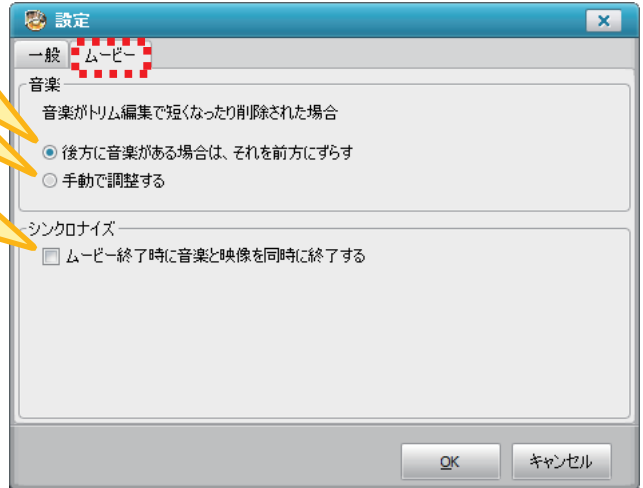
「ムービー」タブから設定

タイムラインにある音楽オブジェクトの初期設定を行います。

タイムライン上に複数の音楽オブジェクトがある場合、前方の音楽に合わせて後方の音楽が移動することで音の切れ目がなくなります。

音楽オブジェクトのタイムライン上の配置を全て手動で調整する設定です。

映像の再生が行われている間は絶え間なく音楽が鳴っているようにするかどうかを設定します。チェックを入れて有効化している場合はムービーの長さが音楽より長い場合は、音楽を繰り返し再生し、ムービーの長さが音楽より短い場合は音楽を途中で終了します。また、ムービー開始時点より後に音楽が始まり、ムービーの終了前に音楽が終了している場合は、ムービー開始時点から音楽開始時点までの無音部分と音楽を一つのオブジェクトとして、ムービー終了までの繰り返し再生されます。

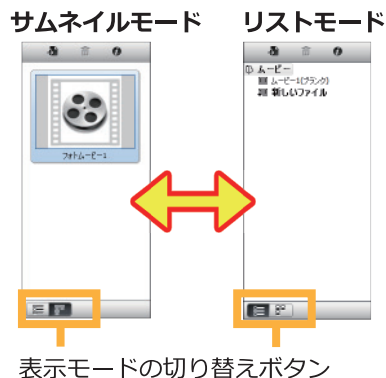


各種ウィンドウ

ムービーリスト ウィンドウ

「ムービーリストウィンドウ」はプロジェクトに含まれるムービーを一覧表示するウィンドウです。サムネイルモードとリストモードの2種類の表示モードが下方のボタンで切り替えられます。最初はサムネイルモードで起動され、何も素材が入っていない状態を示すリール画像が表示されます。このサムネイル自体が一つのムービーであることを示します。今後ムービーを追加する度に、新しいサムネイルがムービーの数だけ表示されます。プロジェクトに複数のムービーが含まれている場合、閲覧・編集するサムネイルをクリックすることで編集したいムービーに切り換えることができます。ムービーリストウィンドウ上部のアイコンボタン、もしくはウィンドウ内を右クリックすることで、プロジェクト内のムービー管理ができます。

- ムービー追加：** ボタンか、ウィンドウ内を右クリックで追加。
- ムービー読み込み：** ボタンから既存ムービーをプロジェクトに追加。
- ムービータイトルの変更：** タイトル上をダブルクリックして入力。
- ムービー削除：** ボタンか、ムービーを右クリックから削除。
- ムービープロパティー：** ボタンか、ムービーを右クリックから開き、ムービー名、ムービーの背景画像/色、ムービーリストウィンドウ上とDVD メニュー作成時のサムネイルを編集。



ムービーが複数ある場合の順序変更

- サムネイルをクリックして、編集するムービーを選択します。
- サムネイルの順序変更：DVD 作成時にはムービーリストの上から並んでいる順番でDVD チャプターが順番に作られていきます。ドラッグして任意の順序に並べ替えてができます。

①サムネイルをクリックすると
選択され、色が青くなります。



②サムネイルをドラッグすると

ポインターが変形表示されます。
そのまま下方に移動してドロップします。



③選択したサムネイルが上から
二番目に順序変更されました。

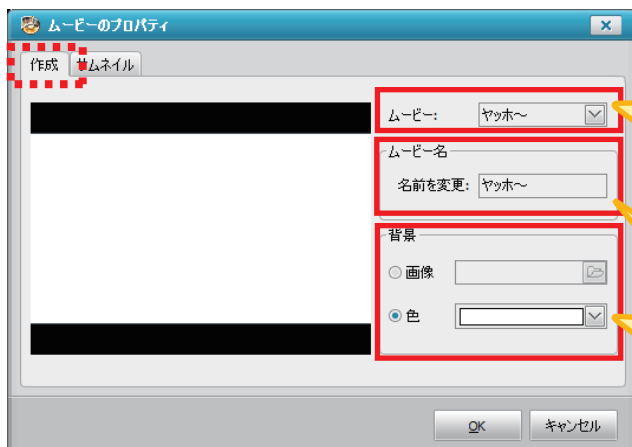


ムービープロパティー

「ムービープロパティー」はムービーリストウィンドウから開く、重要な設定項目です。

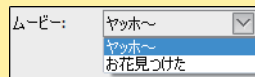
「作成」タブから設定

ムービー単位の基本設定を行います。ここで設定する背景はムービー開始から終了までの間表示される共通背景です。作品の雰囲気に非常に大きな影響を与えます。



この画面では、ムービー「ヤッホ〜」が選択され、背景には色（白）が設定されています

ムービー： 設定対象となるムービーを選択。



名前を変更： タイトルを入力して変更します。

ここで作品ムービーの背景を設定します。

画像： 写真や画像ファイルを設定します。

色： 任意の色を設定します。

「サムネイル」タブから設定

ムービーリストウィンドウ上のサムネイルを設定します。ここで設定したサムネイルはDVD作成時のDVDメニュー上のチャプターのサムネイルとして表示されます。サムネイル設定のオプションは画像か作品ムービーの2種類あります。本画面では「ムービーをサムネイルに使用」が選択されています。



ムービー：設定対象となるムービーを選択。

作品ムービーをサムネイルに使用を設定すると、作成したムービーがDVDチャプターのサムネイル内で動画で表示されます。

画像：画像ファイルをサムネイルに設定。

作品ムービーをサムネイルにする場合、必要部分の開始時間と終了時間を指定します。

写真サムネイルウィンドウ・プレビューウィンドウ

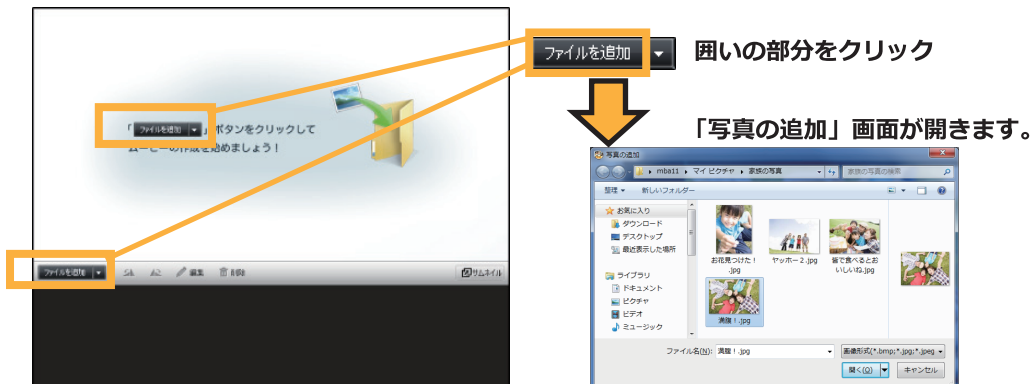
追加した写真はストーリーボードに並べられます。写真サムネイルウィンドウ上の写真サムネイルをクリックすると、プレビューウィンドウ上に写真が大きく表示されます。また、写真サムネイルウィンドウとプレビューウィンドウの間に位置するツールバーからはファイルの追加以外にも、写真の向きの変更、写真・空白クリップの編集、写真の削除、プレビュー画面の表示変更が行えます。

ファイルの追加

いよいよ作品作りに入ります。

さっそく、写真をムービーに追加してみましょう。サムネイルモードで表示されている場合は、「ムービー1」と書かれているリールのムービーサムネイルを、リストモードで表示されている場合は「ムービー1 (ブランク)」と書かれている文字の上を一回クリックしてください。

次に、「プレビューウィンドウ」もしくは「写真サムネイルウィンドウ」上にある「ファイルを追加」ボタンをクリックしてください。「写真の追加」画面が開き、Windowsで通常ファイルを開くのと同じ要領で写真をムービーに追加できます。キーボードのShiftやCtrlを押しながら選択していけば一度に複数の写真を選択/追加できます。現在開いているフォトムービーモードでは画像ファイルのみ、追加可能です。



また、「ファイルを追加」ボタンの右横のプルダウンメニューをクリックすると、前述の写真の追加以外に、「空白クリップの追加」、「デバイスからの追加」が可能です。



空白クリップの追加：空白のクリップを追加します。例えば、場面展開の度に空白のクリップを挿入してその上にテキストを載せたり、後でタイムラインからナレーションを被せて展開を説明できます。

写真の追加：「写真の追加」画面が開きます。

デバイスから追加：USB 経由で接続しているデジカメなどから直接、プロジェクトに写真を追加可能です。この機能はその場でムービー制作から動画を作成を行う場合以外はお勧めできません。なぜなら、この機能で読んでいるデバイスは外付けである性質上、デバイスを外すと画像が読み込めなくなり見られなくなるからです。できる限り常駐の内蔵か外付け HDD に画像を移動して「写真の追加」から読み込んでください。

写真の追加したら・・・プロジェクトを保存しよう！

写真を追加すると、写真サムネイルウィンドウに写真が並べられます。作品を保存しておきましょう。

*この時点で、写真には自動演出が施されていますので作品ムービーのように見ることができます。

現在は「入力」の解説をしているので少し脱線しますが、PMS 6 画面の最上部の「編集」タブをクリックして、画面中央のプレビュー画面下の再生ボタンをクリックすると現状ムービーが閲覧できます。

①写真を追加後、写真サムネイルウィンドウ上に写真が並べられたのを確認



この時点でムービーリスト ウィンドウのムービーサムネイルが、写真が追加されていない状態を示すリール画像から写真サムネイルウィンドウ上の一番左端の写真サムネイルと同じ画像に変わっているのが見えます。

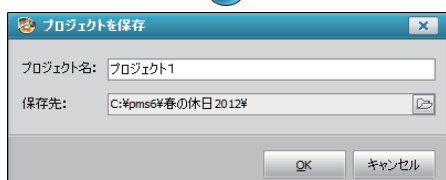
②ムービーにタイトルを付ける

ムービーリスト ウィンドウのサムネイルの下方の「ムービー 1」と書かれている部分をダブルクリックして、ムービーのタイトルを入力してください。



③プロジェクトを保存

PMS 6 画面左上の「メニュー」ボタンをクリックして「保存」をクリックしてください。



任意の保存先に、任意のプロジェクト名を付けて「OK」をクリックすれば保存完了です。この画面では保存先の設定時に「新規フォルダ」をクリックして、C ドライブ直下に「PMS6」、その下に「春の休日」(C:\¥PMS6¥ 春の休日 2012¥) と保存先を設定し、プロジェクト名「プロジェクト 1」として保存しました。

以後、プロジェクトや作品ムービーを作りこんだら保存をしてください。また、終了時に PMS6 画面最上右にある「閉じる」ボタンをクリックすると保存するかを尋ねるウィンドウがポップアップします。

ファイルの追加をしてプロジェクトの保存を行った後の「入力」画面

プロジェクトの保存が完了すると、PMS 6 画面最上部にはプロジェクト名が以下のように表示されます。また、ムービーリストウィンドウのムービーサムネイルにはムービー名が表示されています。さあ、これから作品を作りこんでいきましょう。



ツールバー

写真サムネイルウィンドウとプレビューウィンドウの中央に位置する「ツールバー」からはファイルの追加、写真の向きの変更、写真・空白クリップ（写真サムネイル）の編集、写真の削除、プレビュー画面の表示変更が行えます。



ファイルを追加

反時計回りに回転

編集


時計回りに回転

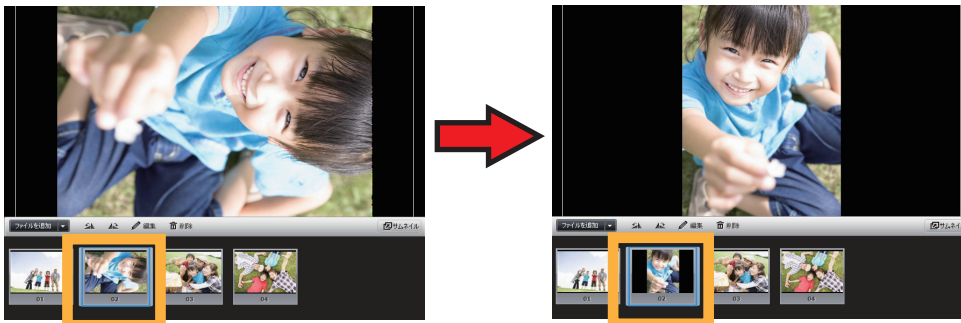
削除

プレビュー画面と
写真サムネイルウィンドウ全面表示
の切り替え

ファイルを追加：ファイルの追加を行います。（P.5 参照）


写真の向きの変更：時計回りに回転は写真を右回り 90 度回転、反時計回りに回転は左回り 90 度回転させます。

- ① 写真サムネイルウィンドウ上の写真サムネイルをクリックして選択。
- ② ツールバー上の  「反時計回りに回転」 ボタンをクリック。




写真の向きが変更されました。写真サムネイルウィンドウとプレビューウィンドウに変更が反映されます。

編集：写真・空白のクリップの編集と、テキストの追加と編集を行います。

写真サムネイルをクリックして選択、「編集」ボタンをクリックして「写真の編集」画面が開きます。また、写真サムネイルをダブルクリックすることでも「写真の編集」画面が開きます。

*「写真の編集」画面の操作方法に関してはP.9、「空白のクリップ」に関してはP.10をご参照ください。

プレビュー画面と写真サムネイルウィンドウ全画面表示の切り替え：プレビューウィンドウ表示と写真サムネイルウィンドウ全画面表示を切り替えます。写真枚数が多くて順番に並び替えが大変な時に重宝します。

削除：写真サムネイルウィンドウ上にサムネイルとして表示されてる写真・空白のクリップの削除をします。写真サムネイルをクリックして選択したら 「削除」ボタンをクリックすれば完了です。

ツールバー機能に右クリックからアクセス：

※写真サムネイルウィンドウ（起動時と同じ縮小表示の時）を右クリックするとメニューが表示されます。表示されたメニューからは、写真の向きの変更以外のツールバー全機能が使用できます。

また、「サムネイルとして表示」では選択してる写真サムネイルをムービーリストウィンドウ上のムービーサムネイルとして設定できます。

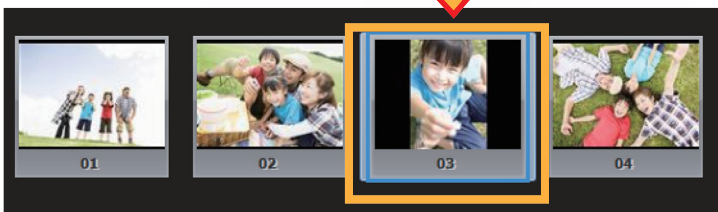
※写真サムネイルウィンドウの空白部分を右クリックで「ファイルを追加」ボタンの機能が使用できます。

写真の並び替え

写真はムービーの中で、写真サムネイルウィンドウの左から順番に表示されます。これを踏まえて写真サムネイルを並び替えることで、写真の表示順序を設定できます。方法は【P4、ムービーが複数ある場合の順序変更】で行った作業と同じ要領で、写真サムネイルを移動したい方向へドラッグ&ドロップするだけです。



例：
右方向に向かってドラッグするとサムネイル上に変形ポインターが、移動先には青い縦棒が表示されます。



青い縦棒に向かってドロップすれば完了です。

写真の編集

「編集」タブからの設定



クリップリスト

編集、テキスト

編集メニュー

プレビュー画面のツール

- 反時計回り**：写真を左方向に 90 度展開します。
- 時計回り**：写真を右方向に 90 度展開します。
- 水平方向に反転**：写真を水平方向に鏡写しします。
- 垂直方向に反転**：写真を垂直方向に鏡写しします。

ズームイン / ズームアウト：左右の虫眼鏡アイコンを左クリックか、スライダーをドラッグして拡大縮小します。拡大時にはプレビュー画面上をドラッグして表示部分を自在に変更できます。この機能は編集時の利便の為の機能ですので、編集自体には反映されません。実際の拡大はクロップで行ってください。

リセット：写真を追加した時点の、編集が何も施されていない時点の状態に戻します。

クリップリスト

追加した画像（空白クリップも含む）がすべて表示されます。両端の矢印ボタンをクリックしてクリップリスト内の画像を端から端まで見ることができます。また、ここで左クリックをすることで画像が選択されて、下の「編集」、「テキスト」タブから編集が可能になります。

「編集」タブ

タブの下のボタンから調整・クロップ・フィルター・赤目補正を選択して編集できます。

調整 - 写真の補正など必要不可欠な編集を行います。



自動補正：ボタンをクリックすると自動的に画像が最適化されます。追加補正は以下より手動で行ってください。

色相・彩度・明るさ・コントラスト：手動でスライダーをドラッグして任意の設定が可能です。また、追加の画像補正や変化を与えたい場合は、下方にあるフィルターをご利用ください。

クロップ - 写真の部分拡大や比率固定を行います。



16 : 9で部分拡大



この場合は、「16:9」を選択。プレビュー画面上の「囲み」をドラッグして位置を移動。「囲み」上の■部分をドラッグしてサイズを設定。最後に「適用」をクリックして、編集を反映。

クロップなし：初期設定では「クロップなし」の状態です。編集後に元に戻したい場合は、ここを選択します。また、プレビュー画面下の「リセット」ボタンをクリックすると初期設定の状態に戻ります。

4対3：画面比率が4:3に固定します。

16対9：画面比率が16:9に固定します。

手動：画面比率を手動で設定します。

クロップ位置：数値を入力して設定します。また、プレビュー画面上の囲みをドラッグして設定できます。

適用：編集後にクリックして、編集を反映させます。

フィルター - 特殊効果を加えます。



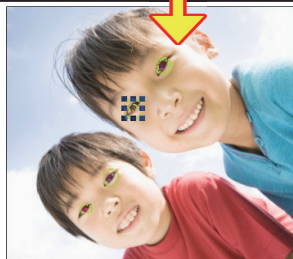
各種フィルターを付加し、特殊効果を演出します。

この場合は「フラッシュ」サムネイルをクリックして選択、下方にあるスライダーで表示された編集項目(X・Y・範囲)をドラッグして調整をしています。選択したフィルターの種類によって、編集項目は異なります。また、元に戻したい場合は、画面左上の「なし」を選択するか、プレビュー画面下の「リセット」をクリックしてください。

赤目補正 - 写真の人物や動物の目が赤くなっている場合、補正します。



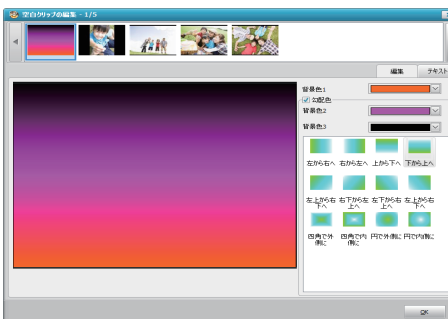
「赤目補正追加」をクリックすると、プレビュー画面上に「+」プラスが現れます。プラスをドラッグすると「+」囲みに変わり、囲みの中には緑の○が表示されます。囲みをドラッグして移動、また囲みの■部分をサイズを調整して、緑の○が赤目の部分を囲むようにしてください。片目が終わったら、再度「赤目補正追加」をクリックすると、囲みが追加されるので同様に設定してください。設定が終わったら、「補正」ボタンをクリックすると編集が反映されます。



注意 選択時の範囲は赤目の部分ギリギリではなく、大きい目の範囲で選択してください。「補正」ボタンをクリックしても効果が薄く感じた場合は、複数回クリックしてください。また、赤の種類によっては、うまく機能しない場合があります。

空白クリップの編集

「空白クリップの編集」画面は以下のように、「写真の編集」画面と比較するとプレビュー画面下方のツール群が無く、「編集」タブの内容が異なりますが、それ以外は同じです。



背景色 1：空白クリップの色を設定します。動きのあるスタイルの中で使用時は黒を推奨します。

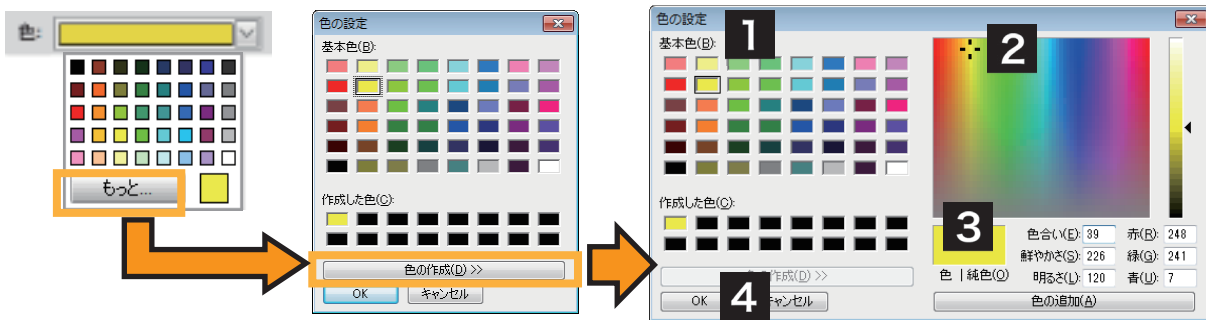
勾配色：チェックを入れると勾配色=グラデーションが有効になります。下部に表示されているサムネイルを左クリックしてグラデーションのパターンを選択します。背景色1に加えて、背景色2、背景色3の最大3色のグラデーションを設定できます。

*「テキスト」タブからの設定方法は、(P.11- テキストの編集)を、色の設定方法に関しては、(P.11- 色の詳細設定)をご参照下さい。

色の詳細設定

色の設定はあらゆる編集画面で可能です。「色設定」ボタンの色が付いた部分が右端のボタンをクリックすると、色の一覧が表示されます。任意の色をクリックすると、設定完了です。また、「もっと」をクリックすると、「色の設定」画面が表示され、さらに多くの色が表示されます。ここでは任意の色をクリックしてOKをクリックすると設定完了です。また、「色の設定」画面下の「色の作成」をクリックすると任意の色を作成・設定できます。

「色設定」ボタン



任意の色を作成・設定

- 1 作成したい色にいちばん近い色をクリックします。
- 2 菱形のポインターをドラッグして調整できます。画面右下の数値欄に直接入力しても可能です。もし、最初からポインターで任意の色を設定したい場合は、明るさの初期設定がゼロですので、画面右側の三角をドラッグするか画面右下の数値設定欄から明るさを上げてください。
- 3 作成した色を確認します。
- 4 「OK」を左クリックで設定終了です。途中で止める場合は「キャンセル」をクリックしてください。

テキストの編集

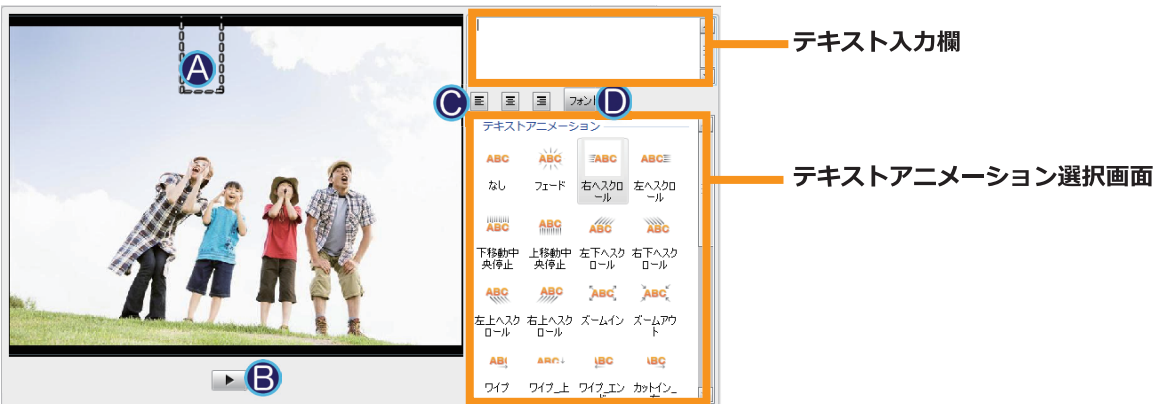
テキストの表示方法は大きく分けて以下の3通りあります。

【写真に直接埋め込む表示方法】

【PMS6 最上部の編集ボタン / タイムラインとクレジットからの表示方法】

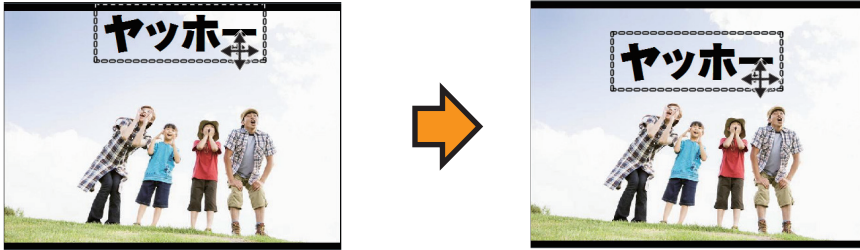
【DVD メニュー作成時の表示方法】

編集方法には関しては基本的に同じです。テキストのフォント・サイズ・色・配置・テキストアニメーションを追加できます。ここでは【写真に直接埋め込む方法】を例に解説します。



テキストの入力と配置

テキスト入力欄に文字を打ち込むとプレビュー画面の **A** テキストボックス（点線白枠部分）の内側に文字が表示され、それをテキストオブジェクトと呼びます。次に、ポインターをプレビュー画面上のテキストボックスの上に置いてください。⇄ 菱形矢印が表示されます。ドラッグすると、テキストボックスの位置を移動することができます。



テキストアニメーション

テキストアニメーション選択画面内にあるアイコンを左クリックすると自動的にテキストアニメーションが適用され、プレビュー画面内のテキストがアニメーションの動きを一度、表示します。再生する場合はプレビュー画面下の **B** ボタンをクリックしてください。解除する場合は同選択画面内最上部左側場面に位置する「なし」アイコンを左クリックしてください。

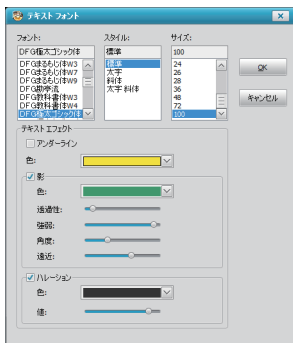
*【PMS6 最上部の編集ボタン / タイムラインとクレジットからの表示方法】では「上へスクロール」と「下へスクロール」が追加されています。エンドロールなどが簡単に作成できます。

テキスト整列

C 左ボタンから順に「左に揃える」・「真ん中に揃える」・「右に揃える」となっています。テキスト入力欄に打ち込んだ文字の揃えを行います。

フォント

D 「フォント」ボタンをクリックすると「テキストフォント」画面が開き、フォントの編集ができます。



フォント：フォントの種類を選択。種類はOSのシステムフォントに依存します。

スタイル：標準・太字・斜体・太字斜体から選択。

サイズ：テキストの大きさを設定。

アンダーライン：テキストに下線を追加。使用時にチェックを入れてください。

色：初期設定は黒。テキストの色を指定します。

影：テキスト背景に影を付けます。色・透過性・強弱・角度・遠近を設定できます。

ハレーション：テキストに外枠を入れます。色・値を設定できます

例：

* 色の設定方法に関しては、(P.11- 色の詳細設定) をご参照下さい。

CHAPTER 3 ▶▶ 編集

フォトムービーモードの「入力」画面から写真の追加を行いました。

次はいよいよ、「編集」画面から作品の作りこみを行います。ムービーの制作の第2のステップです。

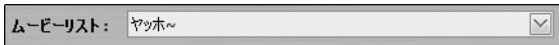
下の画面は「入力」で行った作業を行った直後に「編集」をクリックして開いた画面です。



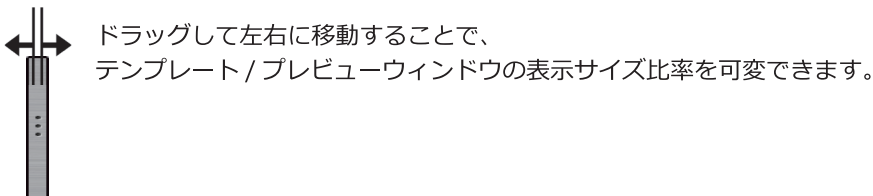
- 「ストーリーボード & タイムライン」に対して「テンプレートウィンドウ」から演出テンプレート各種（スタイル・クリップアート・エフェクト・サウンド・クレジット）、音楽、ナレーション、字幕を追加していくことでムービーを作りこんでいきます。
- 「プレビューウィンドウ」ではムービーを盛り上げる演出テンプレートのプレビューを見たり、「ストーリーボード&タイムライン」に演出を施した後に試写できます。

ムービーリスト

「入力」ボタンの真下にある「ムービーリスト」から編集を行うムービーを選択します。プロジェクト内に複数のムービーがある場合、ムービーを切り替えて連続的に編集できます。「入力」で出てきたムービーリストウィンドウの簡易的ものです。



テンプレートウィンドウとプレビューウィンドウの間にあるバー

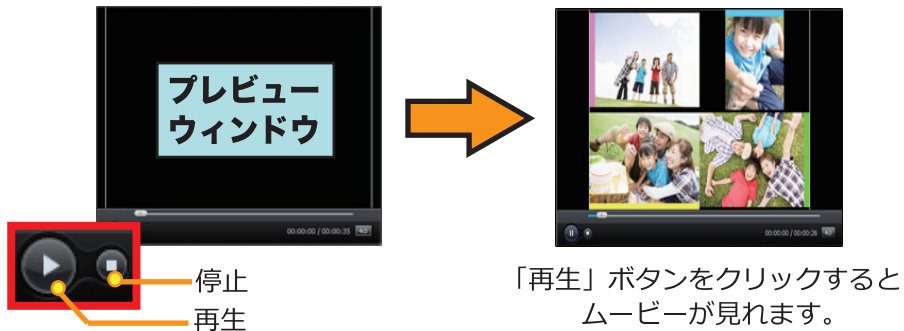


プレビューウィンドウで現在のムービーを見てみよう

「入力」では写真を追加し、向きを変えたり並べ替えたりしました。

それらの写真には「編集」を開いた時点で既に自動演出が施されています。

プレビューウィンドウ左下にある「再生」ボタンをクリックしてムービーを見てみましょう。



さあ、ムービーに手を加えて作品として仕上げていきましょう。

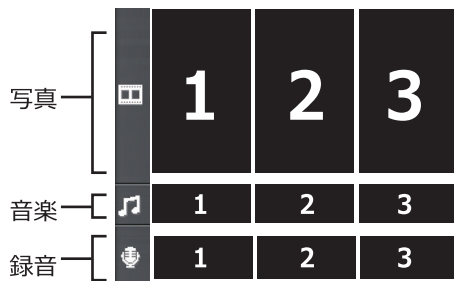
ストーリーボード&タイムライン

PMS6 で作成するムービーとは、各オブジェクトがスケジュール設定に沿って連続的に再生されたものです。ストーリーボードとタイムラインは表裏一体の時系列設定画面であり、各オブジェクトの作成・編集・スケジューリングを行います。左端のムービー開始時間から、時系列右方向に向かって各種オブジェクトの配置設定をすることでムービーを作成していきます。

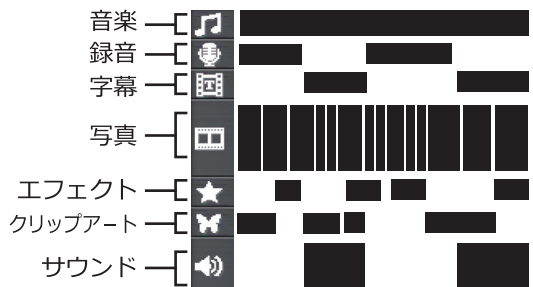
ストーリーボードとタイムラインの比較

ストーリーボードとタイムラインは使用コンセプトが違います。ストーリーボードはオブジェクトの再生順序を大まかに設定しながら作品構成を練っていくことが主眼であるのに対して、タイムラインではオブジェクトの細かなタイミング調整・小道具的なテンプレートの追加をして演出を施していくことが主眼となっています。また、使用コンセプトの違いにより、対応するオブジェクトの種類・表示方法も違います。対応オブジェクトは各画面一番左のトラックアイコンストーリーボードとタイムラインとして表示されています。

ストーリーボード：オブジェクトをザックリ並べて構成を練ります。表示上、オブジェクトは写真1枚あたり皆同じ横幅です。



タイムライン：オブジェクトを細かく設定して演出を施します。表示上、オブジェクトは再生時間の長さにより横幅が設定され、時系列の好きな位置に配置可能。



ストーリーボード

ツールバーの右に位置する「ストーリーボード」が押されている状態です。写真に対してスタイルを追加し、BGMの音楽とナレーション等の録音を追加できます。前チャプターの「入力」/「写真サムネイルウィンドウ」よりは編集が可能です。タイムラインよりはシンプルです。主に絵コンテ的に写真とスタイルのコンビネーションや表示順を色々と試しながら作品を練り上げていく時に活躍します。

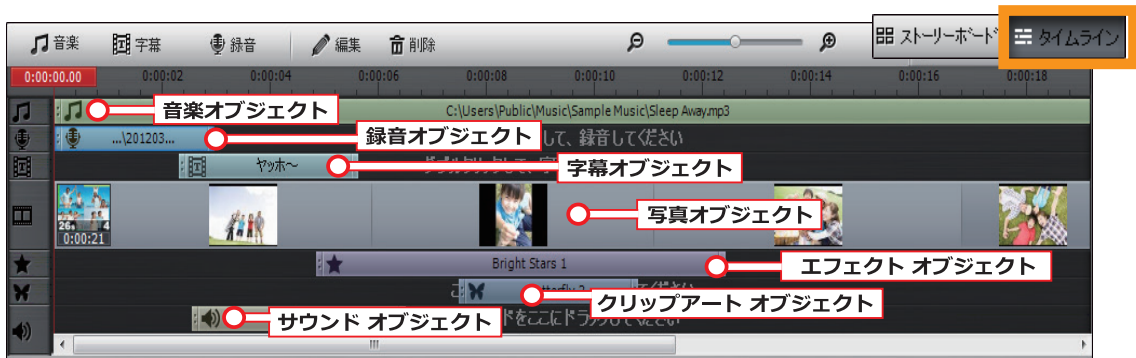


写真オブジェクト：スタイルと写真が対になっているオブジェクトです。一つの写真オブジェクトで最小で写真 1 枚分から、最大写真 16 枚分まで設定可能です。



タイムライン

ツールバーの右に位置する「タイムライン」が押されている状態です。ストーリーボードは時系列にオブジェクトの長さ（再生時間）、配置場所（表示タイミング）を設定します。ここで作品を作り込んでいきます。



タイムバー (Tバー)

タイムバー（通称・Tバー）はタイムライン上のツールバーのすぐ真下に表示されている「T」の形をした赤い物体です。ムービープレビューで再生している時点を示す時計です。ムービープレビューに合わせて右方向に移動しながら開始時間（0:00:00.00）からの経過時間を表示します。

ムービープレビュー箇所の設定：タイムバーを左右に移動させて、時系列上の見たい箇所が見れます。



- ①中央にポインターを配置、「パー」が表示される。
 - ②ドラッグで「グー」になったら、掴んだ証拠。そのまま左右に移動。
- ※プレビュー中でタイムバーが移動中でも可能。

プレビューウィンドウ

スタイルやムービのプレビュー（試写）を行います。スタイルは選択画面で一回左クリックすると再生されます。ストーリーボードとタイムラインのムービーはプレビュー画面左下の再生ボタンからプレビューできます。

映像の頭と時間表示出し

画面下部のスライダーは映像の再生に伴って右側に移動していきます。スライダーをドラッグで移動させて自由に頭出しができます。スライダー下の数値は「経過時間 / ムービー再生時間の長さ」です。この画面では、長さ 26 秒間のムービーが再生後 1 秒間が経過した時点、となります。

スライダーをドラッグしながら再生時点を設定、頭出し



画面比率の変更

スライダーの右下の **4:3** 「4:3」ボタンは現在の画面比率を示しています。クリックすると **16:9** 「16:9」ボタンに変わり、画面比率も変わります。相互に切り替え可能なので、ムービー再生を予定している機材に合わせて制作を行えます。

※プレビューウィンドウで行う画面比率設定は、あくまでもプレビュー時のもので、動画や DVD の作成時の画面比率を決定しません。作成時の画面比率は次のチャプターで解説します。

画面比率 4:3



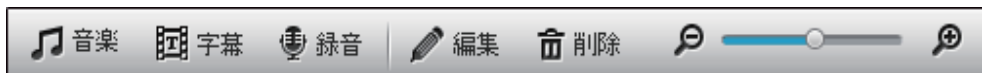
画面比率を相互切り替え

画面比率 16:9



ツールバー

ストーリーボード&タイムラインの上に位置する「ツールバー」からは音楽・字幕・録音の追加、各種オブジェクトの編集・削除、タイムラインのズームイン・ズームアウト、ストーリーボードとタイムラインの切り替えが行えます。



音楽 : BGM 用の音楽を追加します。

字幕 : タイムラインに沿って、字幕オブジェクトを追加できます。

録音 : PC に接続済みのマイクから録音を行い、オブジェクトとして追加します。

編集 : 各種オブジェクトを選択して、「編集」ボタンをクリックすると種類別の編集画面が開きます。

削除 : 各種オブジェクトを選択して、「編集」ボタンをクリックすると削除を行います。

タイムラインのズームイン・ズームアウト : タイムライン横軸の収縮を行います。

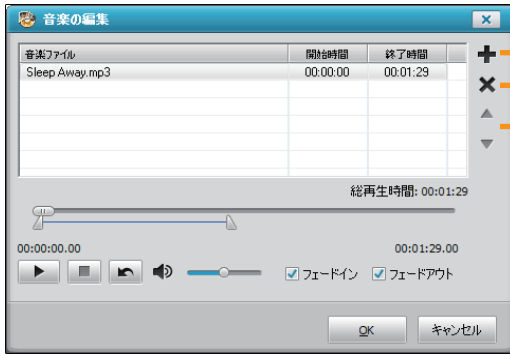
右クリックからのメニュー表示 : オブジェクト全般、写真オブジェクト内の写真やスタイル、ストーリーボードやタイムラインのオブジェクトが無い部分から右クリック / メニューを表示できます。ここからツールバー機能と素材の追加・削除・編集に関する機能をご利用いただけます。

※字幕、クリップアート、エフェクト、サウンドはタイムラインでのみ利用可能です。

ストーリーボード表示時にクリックした場合は自動的にタイムラインに切り替わります。

※エフェクトとサウンドはオブジェクトの長さ以外は編集できません。

音楽



- 音楽ファイルをリストに追加します。
- 音楽ファイルをリストから削除します。
- リスト上のファイルをクリックで選択して上下に移動しながら音楽ファイルの再生順序を設定します。

リスト上のファイルをクリックで選択して、ビデオと同じ要領で編集します。

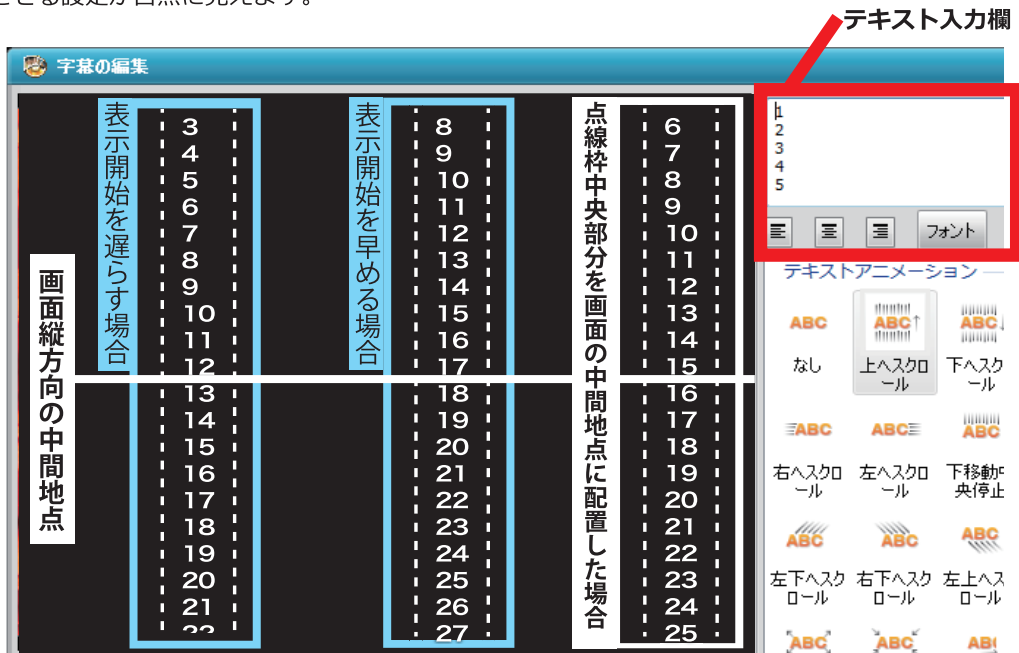
*** P.30 背景/BGM を参照**

字幕追加とエンドロール

テキストの編集と同じ要領 (P.11 を参照) で字幕を編集し、タイムライン上に字幕オブジェクトを追加できます。
ノート: エンドロール作成用に「上ヘスクロール」と「下ヘスクロール」の2種類のエフェクトが追加されており、簡単にエンドロール等のテキストスクロールが作成可能です。

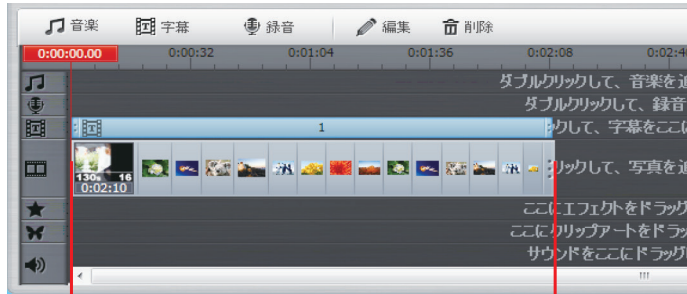
テキストスクロールの表示タイミング調整

下の画面では、例としてテキスト入力欄内で1から30までの数字30個を縦に並べています。これらの数字は画面左側表示エリアの点線枠内に表示され、タイムライン上には字幕オブジェクトが自動的に追加されます。タイムライン上の字幕オブジェクト左端をテキストスクロール開始時間として指定する場合、この点線枠の縦方向中央部分 (この場合は1~30間での数字を縦方向に配置したので、15と16の間が中央) を、画面縦方向の中間地点に配置し内てください。表示開始時間を遅らす場合は点線枠中央部分を画面下方向に配置し、表示開始時間を早める場合は点線枠中央部分を画面上方向に配置してください。通常は、表示開始時間を若干遅らせて表示を開始させる設定が自然に見えます。



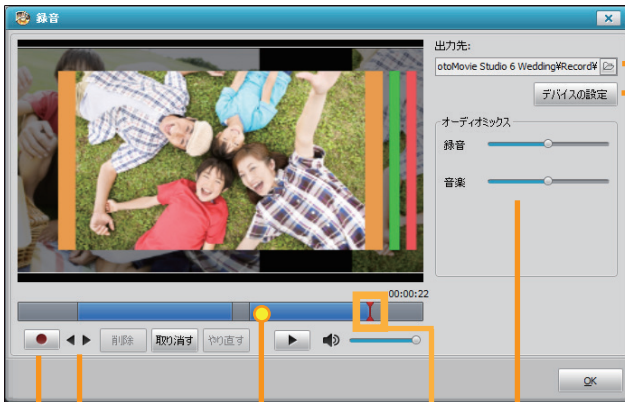
尚、テキストスクロールの表示速度は、タイムライン上の字幕オブジェクトの左右の幅で決まります。

タイムライン



総表示時間 = 表示速度

録音



録音ボタン
スライダー移動ボタン
録音オブジェクト

スライダーです。
左右にドラッグできます。

録音した音声ファイルの保存先を設定



録音マイクを選択

入力経路を選択

録音している音声を録音中に再生します。
通常はチェックを入れない状態です

テンプレートウィンドウ

テンプレートウィンドウには5種類のメニューがあります。これらを利用して演出を行います。

スタイル	▶
クリップアート	▶
エフェクト	
サウンド	
クレジット	

スタイル：演出の肝と言える部分です。写真に動きを付けるのが「スタイル」です。

クリップアート：小道具的な画像や、ちょっとしたアニメーションを挿入します。

エフェクト：画面いっぱいに様々な模様や効果をオーバーラップさせ空気感を演出します。

サウンド：特殊効果音を挿入します。

クレジット：オープニングやエンディングのタイトルクレジットを設定します。

重要！

テンプレートウィンドウで表示される全てのテンプレートは、アイコンを一回左クリックするとプレビューが行えます。プレビューを行いながら作品で使用するテンプレートを探ることができます。

テンプレートの追加方法

ストーリーボード & タイムラインにテンプレートを追加する方法は、以下の4通りあります。

- ・サムネイルをダブルクリック：写真オブジェクトは選択してからダブルクリック。
- ・サムネイルをストーリーボード & タイムライン上のクリップオブジェクトにドラッグ & ドロップ
- ・サムネイルを一回左クリックしてから適用ボタンをクリック
- ・サムネイルを右クリックから「適用」をクリック

ここでは主に「サムネイルをダブルクリック」することで追加していることを前提に説明します。

※クリップアート、エフェクト、サウンドはタイムラインでのみ利用可能です。

ストーリーボード上にドロップした場合は自動的にタイムラインに切り替わります。

スタイル

一言でいえば「スタイル」とは、写真に動きを付けるのが「スタイル」である、と言えます。

実際にどんなことができるのか見てみましょう。



「スタイル」ボタンをクリックしてください。すると、下にカテゴリーリストが表示され、右側にスタイルのサムネイルが表示されます。サムネイルを一つ選んで、一回左クリックをしてください。プレビューウィンドウにスタイルの内容が再生されます。同様にサムネイルを選んで、一回左クリックを行うことでスタイルが理解してもらえます。

サムネイルの説明

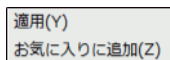
例：



「02 s」はスタイルの基本再生時間が2秒であることを示しますが、時間は可変できます。

「1」は写真の規定枚数が1枚であることを示します。枚数は変更できません。

お気に入りに追加



サムネイルを右クリックするとメニューが表示され、「お気に入りに追加」でカテゴリーリストの一番下にある「お気に入り」に保存してプレイリスト的に利用できます。この機能は「スタイル」と「クリップアート」のみ利用できます。

自動演出機能



「自動演出」ボタンをクリックするとストーリーボード&タイムライン上の選択された写真オブジェクトに対して自動的にスタイルを当て込んでいきます。また、「自動演出」ボタン右側のプルダウンメニューから以下のオプションが使用できます。



「自動演出」と同じです。

全ての写真オブジェクトに対して自動演出を行います。

自動演出機能で設定したムービーは、多くの場合はここは良いけど、ここは良くないという状況かもしれません。当然のことながら、時として全然気に入らないものかもしれませんし、逆に作品として十分通用するものかも知れません。一つ言えることは自動演出機能を有効活用すれば作品を色々な角度から眺め、時として手を加え、作り込んでいけるという事です。

※スタイル指定の写真枚数に対して写真が足りない場合は、写真が足りない分を埋め合わせる自動処理が行われます。例えば写真4枚が必要なスタイルに対して写真が1枚しかない場合、3枚分はタイムライン上の一番右側にある写真が繰り返し使われることとなります。逆に写真に対してスタイルが設定されていない場合、写真が静止したまま表示されます。

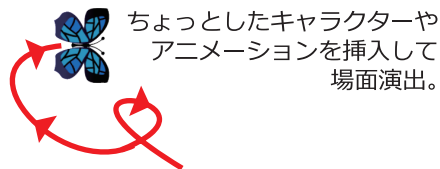
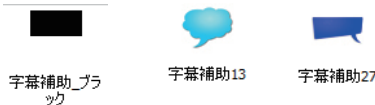
クリップアート

クリップアートは画面中の好きな場所に配置できます。

また、良く使うクリップアートをサムネイル/右クリックから「お気に入りに追加」できます。



例：字幕オブジェクトの背景に配置して活用する、「字幕補助」各種。



ちょっとしたキャラクターやアニメーションを挿入して場面演出。

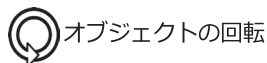
ヤッホー



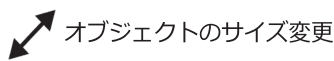
シンプルな色の空白クリップや、任意の画像に背景タイトルやクレジットを入れ、テキストやクリップアートを重ねると場面展開が演出できます。

編集

ポインターを編集画面内で動かすと下画面の様に形を変え編集ができます。



オブジェクトの回転



オブジェクトのサイズ変更



オブジェクトの移動

ドラッグして透明度を変更

エフェクト

ムービーの空気感をドラマチックに演出できます。

例：「輝く星1」

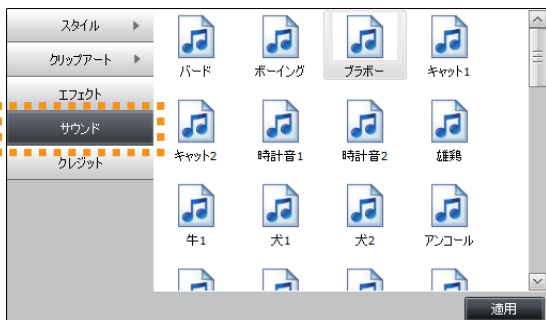


キラキラとした輝きのアニメーションが、
雰囲気醸し出します。

サウンド

特殊効果音をムービーの要所でタイミングよく鳴らして演出できます。

例：「ブラボー」では、拍手喝采とともに
ブラボーという声が聞こえます。



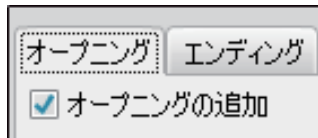
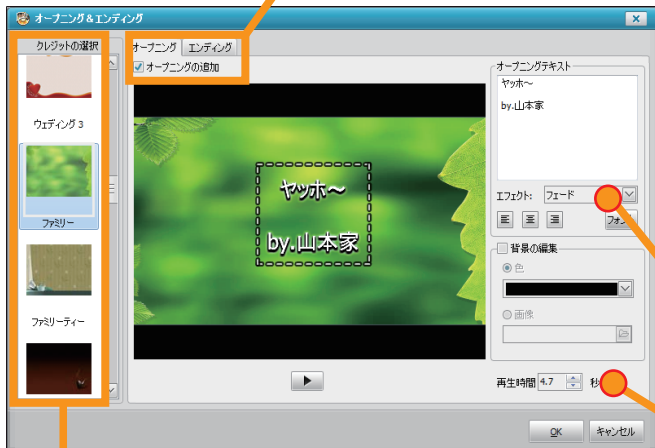
クレジット

ムービー開始を飾るオープニングや、最後に終了を告げるエンディングのタイトルクレジットを設定します。
オープニングとエンディングは同じテンプレートのみ設定可能です。

例：「ファミリー」を選択しました。



クレジットの編集



オープニングとエンディングをタブで切り替えて設定します。画面ではオープニングが選択されています。チェックボックスをオン/オフすることで、どちらか一方だけを使用することができます。

エフェクトを選択します。字幕オブジェクトと同様に、「下からスクロール」、「上からスクロール」が利用でき、エンドロールを作成できます。

再生時間 = 長さを設定できます。

クレジットテンプレートの選択・変更を編集画面内で行うことができます。

*テキストと色の設定に関しては、P.11 をご参照ください。

オブジェクトの移動と長さ調整（タイムラインのみ）

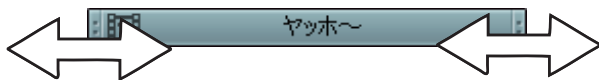
オブジェクトの移動

- ①中央にポインターを配置、「パー」が表示される。
- ②ドラッグで「グー」になったら、掴んだ証拠。そのまま移動。



オブジェクトの長さ設定

どちらかの端にポインターを配置、⇔左右方向矢印が表示されたら左右にドラッグして設定。音楽・録音・サウンドのオブジェクトは素材本来の長さに依存。素材自体より長くなりません。



写真オブジェクトと、その内部の写真並べ替え

移動したい対象を選択

写真オブジェクト内部の写真選択：写真オブジェクト内部の写真をクリックすると、写真が青い枠で囲まれます。そのままドラッグ&ドロップで並び替えできます。写真の移動に関しては本トピック下方に記載の「写真移動時の注意」をご覧ください。



写真オブジェクトの選択：写真オブジェクトの通常グレーの部分かスタイルアイコンをクリックすると、全体が青く変わります。オブジェクトの並び替え移動は、オブジェクト内部のスタイルアイコン部分を移動したい方向へドラッグ&ドロップで行います。

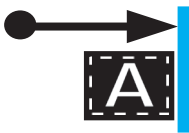


移動と並び替え

写真オブジェクトとその内部の写真の移動方法は、ほぼ同じです。
ここでは写真オブジェクト内部の写真の移動方法を例に説明します。

写真移動時の注意：ストーリーボード&タイムラインは、オブジェクト単位の並び替えを目的としており、その中で細やかな写真順序の並び替え作業には向いていません。**細やかな写真順序の並び替えを行う場合は、CHAPTER 1「入力」の写真サムネイルウィンドウから行ってください。簡単かつ確実です。**その理由として、スタイルの仕組みは写真の左からの並び順に沿ってオブジェクト単位で区切られていく仕様となっているため、複数のオブジェクト間で左右に写真の移動を行った場合、新しく移動してきた写真によって元々あった写真が右にスライドされると同時に割り振られていたスタイルが無効となり、せっかく設定したスタイルが部分的に消えてしまうからです。なお、複数写真（最大写真 16 枚）が含まれるオブジェクト内部の写真移動ではスタイル自体に影響を与えません。

左から右方向に移動する場合は、ドラッグ時に表示された青い棒が移動先の右側に表示されたらドロップ。ただし、オブジェクト内部の写真は左から右端へは移動できません。



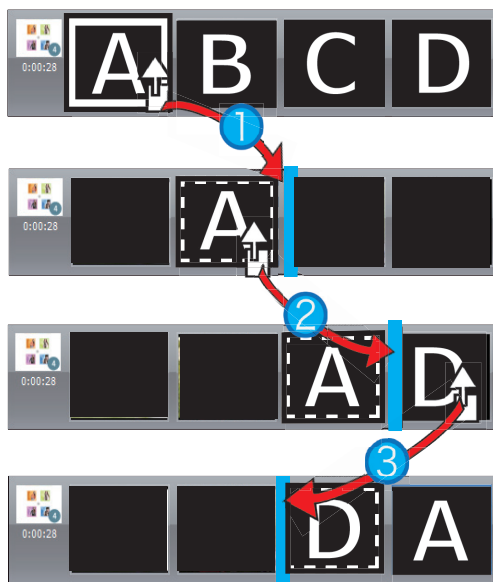
右から左方向に移動する場合は、ドラッグ時に表示された青い棒が移動先の右側に表示されたらドロップ。右から左端への移動はできます。



具体例として、
写真を左から 1 番目の A を
右方向に一つずつ移動します。

- ① A を左から 2 番目に移動
- ② A を左から 3 番目に移動
- ③ A を左から 4 番目に移動

左側のクリップ ABC はいずれもオブジェクトの右端には移動できません。しかし右端の D は左方向に移動可能です。よって、D を左に一つ移動させ、A を右端にスライド移動させます。また、写真オブジェクト自体は一番右から 2 番目のオブジェクトを移動して右端に移動可能です。



CHAPTER 4 ▶▶ 作成

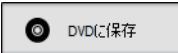
ここでは、制作したムービーから、DVD や動画を作成します。また、YouTube や Facebook 等に最適な形式のビデオとして直接アップロードできます。

「作成」画面



1. DVD に保存

DVD 作成に必要な設定を行います。DVD メニューのカスタマイズ、プレビュー、出力の設定、DVD 作成のオプション設定ができます。

「出力先選択ウィンドウ」の一番上に位置する  「DVD に保存」ボタンをクリックすると、「出力設定ウィンドウ」が「DVD 作成メイン画面」の表示になります。ここで必要な設定を行い、画面右側一番下の「DVD 作成」ボタンをクリックすると DVD 作成が開始されます。

DVD 作成メイン画面



1-1. テンプレート選択画面

テンプレート選択画面から、DVD メニューテンプレートを設定します。テンプレートを左クリックして選択か、右クリックで「適用」を選択。テンプレートを右クリックして「初期テンプレートで保存」を選択すると、お気に入りのテンプレートを DVD メニュー作成時の初期設定テンプレートとして設定可能です。



1-2. メニュー画面

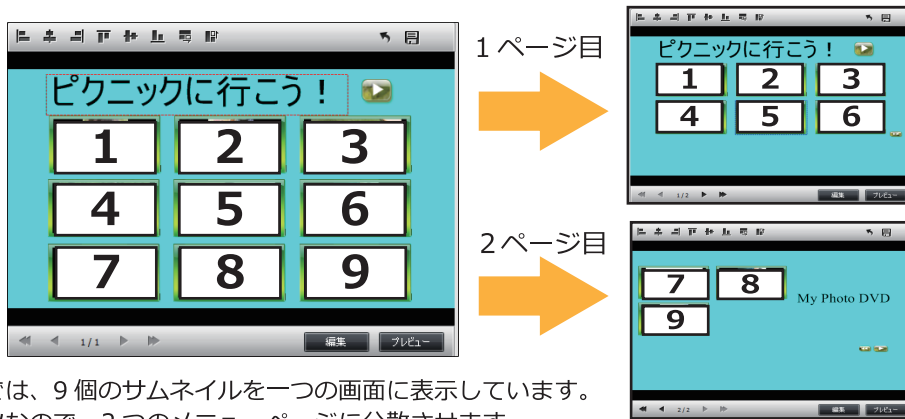
ムービーサムネイル

PMS6 プロジェクトに存在する個々のムービーが個々のサムネイルとなり、個々の DVD チャプターとなります。DVD 作成後は見たいムービーサムネイルを DVD メニューから選択して楽しめます。メニュー画面上でサムネイルの各種設定を行えます。

サムネイル中央をドラッグして移動 サムネイル囲み上の赤い四角口をドラッグして拡大縮小



サムネイルがいくつかある場合、複数のページに分散させることができます。移動したいサムネイルを右クリックして、「次のページに移動」をクリックすると、新しいページが作られ移動します。複数のサムネイルを同時に移動させるには、キーボードのCtrlを押しながら一つずつサムネイルをクリックしていくか、サムネイル上をドラッグして複数同時選択します。次にキーボードのDeleteを押すと次のページが作られ、そこへ一括で移動します。



この例では、9 個のサムネイルを一つの画面に表示しています。キツキツなので、2 つのメニューページに分散させます。

一番下の列のサムネイル 3 つが新しく作成された 2 ページ目に移動しました。

メニューページ間の移動

メニュー画面左下に位置する「移動」ボタンからメニューページ間の移動ができます。

DVD を作成すると、個々のムービーが個々の DVD チャプターとなりますが、チャプターが複数あって一つのメニュー画面に収まりきらなくなった場合は複数のメニュー画面が自動的に生成されます。複数の DVD メニュー画面間の移動方法は以下となります。

例： 1 ページ目



2 頁中の 1 頁目を示します。

「次へ」ボタンをクリックすると一つ次のページに移動します。

「最後へ」ボタンをクリックすると最後のページに移動します。

2 ページ目



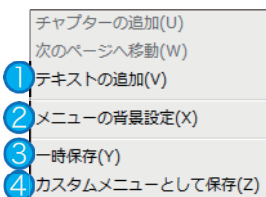
2 頁中の 2 頁目を示します。

「前へ」ボタンをクリックすると一つ前のページに移動します。

「最初へ」ボタンをクリックすると最初のページに移動します。

右クリックからの各種メニュー

画面中のサムネイル等のオブジェクトが無い部分で、右クリックをすると、メニューが表示されます。



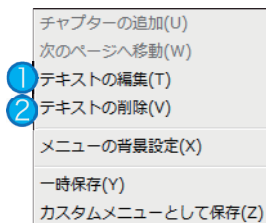
- ①テキストの追加ができます。(詳細は P.11 を参照)
- ②メニューの背景設定ができます。(詳細は P.29~30 を参照)
- ③変更を加えた DVD メニューの設定を一時保存することができます。
編集時に後戻りしたくなるかもしれないと感じた時点で使うと便利です。
- ④変更した DVD メニューをテンプレートとして保存できます。
保存場所は画面右側のカテゴリ / カスタムが一番下です。

画面中のサムネイルを右クリックをすると、メニューが表示されます。



- ①「フレームスタイル」編集画面が表示されます。(詳細は P.31 を参照)
- ②「サムネイル」編集画面が表示されます。(詳細は P.5 を参照)

画面中のテキストを右クリックをすると、メニューが表示されます。



- ①「テキストの編集」画面が表示されます。(詳細は P.11 を参照)
- ②選択しているテキストを削除することができます。

整列

メニュー画面上部の「整列」ボタンからサムネイル、テキスト、メニューボタンの整列ができます。

最初に複数のオブジェクトを同時に選択します。キーボードのCTRL キーを押しながらクリックしたオブジェクトは同時に選択された状態となります。または、オブジェクトの上を一気にドラッグでも可能です。選択を解除するには、オブジェクトが無い部分をクリックしてください。次に、任意の整列ボタンをクリックしてください。CTRL キーを押しながら一番最後にクリックしたオブジェクトを基準に他オブジェクトが揃えられます。

各種の整列ボタン ※ポインターをかざすと、機能が表示されます。



1 左揃え



2 水平軸の中央に揃える



3 右揃え



4 上揃え



5 垂直軸の中央に揃える



6 底辺に揃える



基準



7 同じ幅にする



8 同じ高さにする



修復と一時保存

DVD メニューの編集集中に修復と一時保存をすることができます。



編集で失敗しても、
一時保存しておいた時点に戻せます。

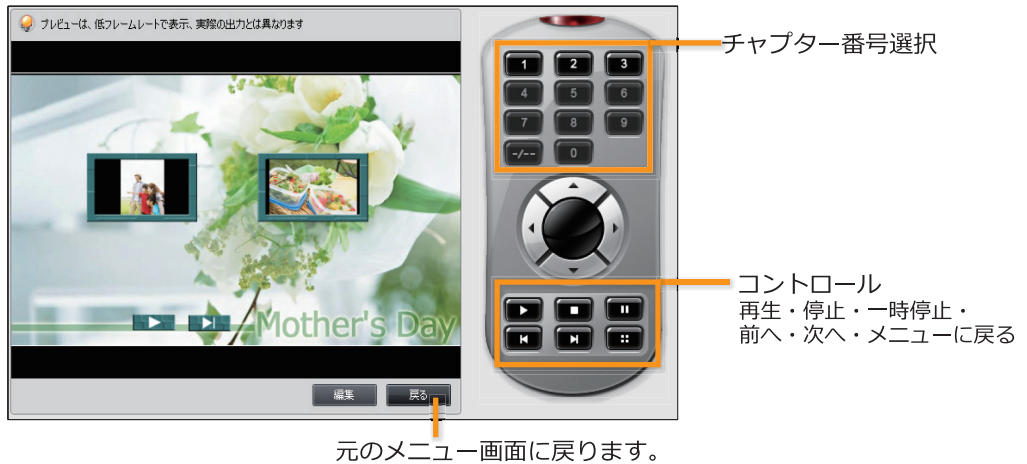
「一時保存」ボタンをクリックすると変更を加えたDVDメニューの設定を一時保存することができます。編集を行っている途中で後戻りしたくなるかもしれないと思う時点で使うと便利です。

1-3. DVD メニュー編集

メニュー画面右下に位置する「編集」ボタンから DVD メニューの各種編集ができます。
また、その右側にある「プレビュー」ボタンからは行った編集の確認ができます。



「プレビュー」ボタンをクリックすると DVD プレビューが始まります。DVD 作成後のシミュレーションがメニュー画面上で展開されます。メニュー画面上のサムネイルやボタン、また通常 DVD 機器を操作する感覚でリモコンボタンをクリックして動作を確認できます。



「編集」ボタンをクリックすると、「DVD メニューの編集」画面が開きます。
背景、BGM、サムネイル、フレームスタイル、テキスト、ボタンスタイルの設定ができます。

背景 DVDメニューの背景を設定します。4つのオプションがあり、本画面上は「ビデオ」が選択されています。



ムービーの使用：作品ムービーの一つを背景に設定。

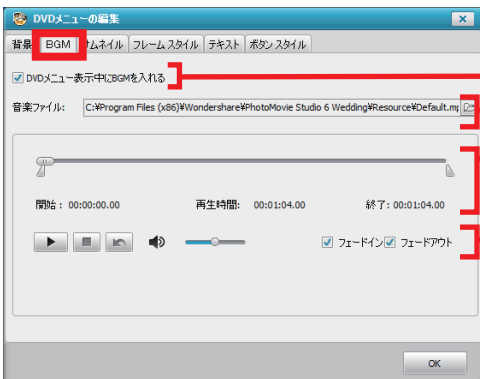
画像：画像ファイルを背景に設定。

ビデオ：付属の背景専用ビデオ、又は任意の動画を設定。

色：絵柄の無いシンプルな背景に色を付けて設定。

「ムービーの使用」もしくは「ビデオ」オプションを選択した場合、ここで必要部分だけを指定します。

BGM DVDメニューのBGMを設定します。



BGMを挿入する場合はチェックを入れます。

BGMのディレクトリを指定。

必要部分の開始時間と終了時間を指定します。

左から、再生・停止・必要部分指定のリセット・音量・フェードイン・フェードアウトを設定。

BGM (音楽) の編集方法は

P.17 音楽と P.18 録音をご参照ください。

サムネイル DVDメニュー上のサムネイルを設定します。



ムービー：設定対象となるムービーを選択します。

作品ムービーをサムネイルとして設定。

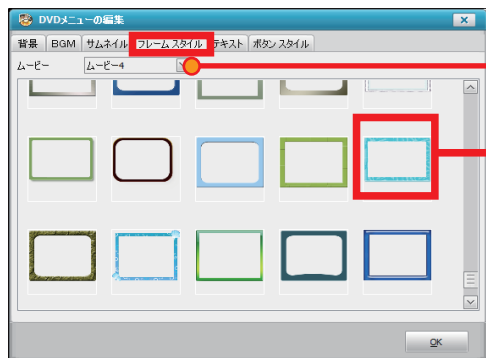
画像：画像ファイルを背景に設定。

作品ムービーをサムネイルにする場合、必要部分の開始時間と終了時間を指定します。

サムネイルの編集方法は

P.5をご参照ください。

フレームスタイル サムネイルの回りをフレームを設定します。選択して



ムービー：設定対象となるムービーを選択します。

フレームを左クリックで選択してください。
編集画面を少しずらして DVD メニュー画面を見るとサムネイル選択したフレームで飾られています。これで決定なら「OK」をクリックしてください。

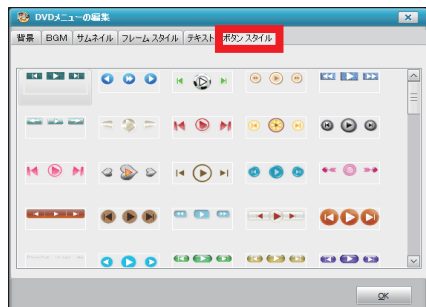
テキスト 複数のテキストオブジェクトを一画面内に配置できます。この機能は DVD メニュー上のみ対応。



追加：画面の違う場所に別の文字を配置したい場合は、プレビュー画面内でテキストボックスが無い部分をクリックしてから「追加」ボタンをクリックしてください。新テキストオブジェクトが追加作成され、入力が可能です。また、プレビュー画面上のテキストをクリックすることで再編集できます。

テキストの全般的編集方法は [P.11](#) を、
エンドロールに関しては [P.17](#) をご参照ください。

ボタンスタイル DVD メニューで表示される、操作ボタンを変更できます。

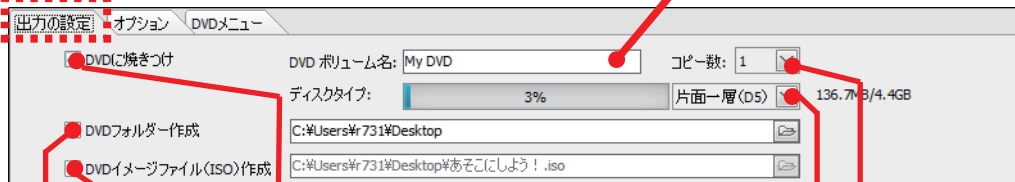


DVD メニューで表示される、操作ボタンを変更できます。
好きなボタンスタイルを選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

オプション設定画面

DVD出力に関するオプション設定を行います。

出力の設定



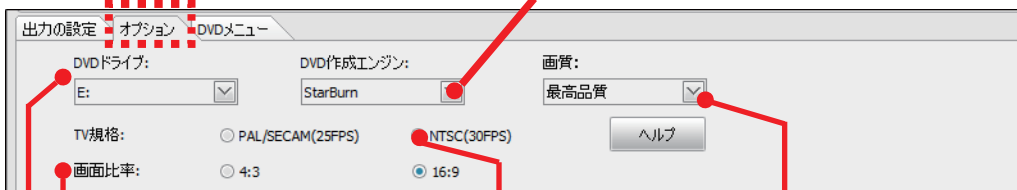
DVDのボリューム名を入力します。

DVDを作成する際にはチェックを入れてください。
ディスクのいない仮想イメージファイルを作成します。

作成するDVDの枚数を設定します。
DVDのディスクタイプを選びます。

DVDフォルダーをHDDに作成します。

オプション



PMS6内蔵の作成エンジン以外がある場合、選択できます。

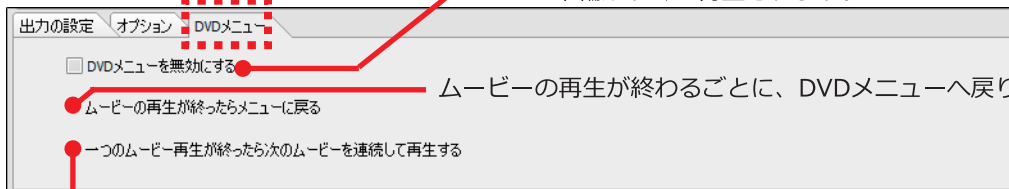
再生環境に合わせて
画面比率を設定します。

TVの規格を変更します。
日本国内で使用する際には、
「NTSC(30FPS)」を選択してください。

任意の作成品質を設定してください。

DVD作成に使用するドライブを選択します。複数のドライブがある場合のみ設定が必要です。

DVDメニュー



メニューなしのDVDを作成します。作成されたDVDを再生すると、
DVDの本編がすぐに再生されます。

ムービーの再生が終わるごとに、DVDメニューへ戻ります。

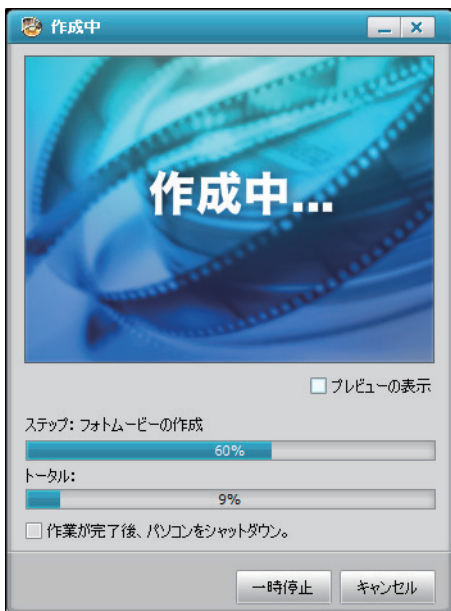
ムービーを連続して再生することができます。

DVD 作成

作成画面の一番右下の



「DVD作成」ボタンをクリックすると、いよいよDVD作成開始です。



「プレビューの表示」にチェックを入れると、DVDの作成過程をプレビューで視認することができます。
「作業完了後、パソコンをシャットダウン」にチェックを入れると、DVD作成が完了するとパソコンは自動的に終了します。



これで完成です！

メーターが進捗を示しています。

2. 動画に保存

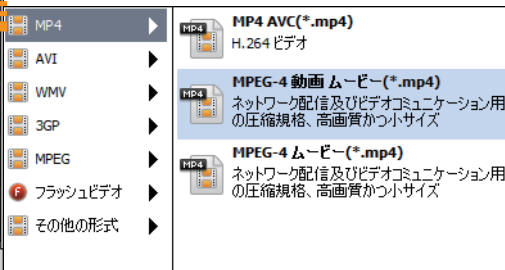
「動画に保存」より下にある項目はボタンの名前は違うのですが全て動画への保存であり、設定方法は、ほぼ共通です。違いは保存形式のプリセット設定ですので、ご使用のプレーヤに最適なプリセットを選択してご活用ください。出力先選択ウィンドウから「動画に保存」を選択すると保存画面が開きます。

出力プリセットを選択

「出力プリセット」を選択すると、「出力の設定」が表示されます。



作成画面左側の「動画に保存」ボタンをクリックすると右側に拡張子別の「出力プリセット」表示され、任意のビデオ形式が選択できます。



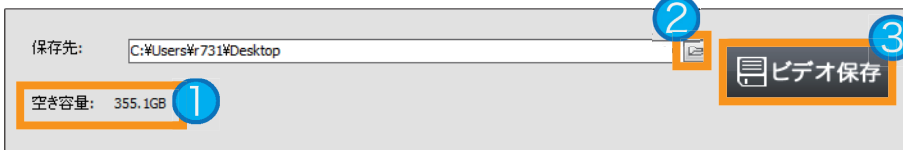
「出力プリセット」を選択すると、「出力の設定」が表示されます。



動画 に保存する場合
「出力プリセット」を選択したら
「出力の設定」を変更せず
ビデオ保存することをお勧めします。

ビデオの保存

設定画面下で保存先を設定しビデオ保存を開始しましょう。



① HDDの空き容量を確認してください。空き容量が足りない場合は空きを確保してください。

② 「保存先設定」ボタンでをクリックしてビデオの保存先を指定してください。

③ 「ビデオ保存」ボタンをクリックするとビデオの保存が開始されます。メーターで作成の進捗が確認できます。「プレビューの表示」を入れると作成中のビデオが見れますが、作成速度が遅くなるのでご注意ください。



完成しました！試写してみましょう。

普通のスライドショーじゃ、つまらない。
写真・動画がイキイキ動くフォトムービーを作ろう!

Trans-Gate

PMS6 シリーズ共通・v1.4 (2014年6月)